

大野 晋平

大野晋平建築設計事務所

【作品名】山崎の家

設 計	大野晋平建築設計事務所
施 工	株式会社 SAKULAB(サクラボ)
竣 工 日	2019年8月28日

◎建物概要

建 設 地	岡山県岡山市	延 床 面 積	127.79㎡
敷 地 面 積	不明	構 造・規 模	木造平屋建

◎設備面の特記

厨 房 機 器	ガスコンロ		
給 湯 機 器	エコジョーズ		
冷暖房機器	エアコン	床暖房	

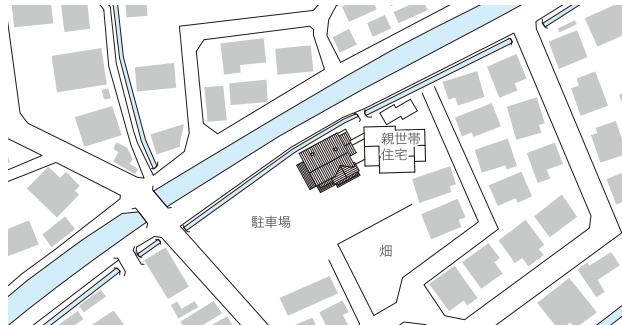


before



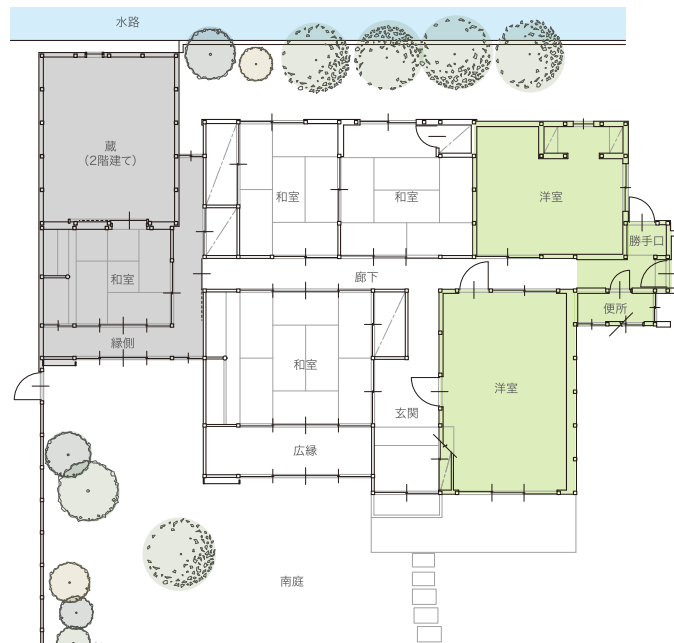
after

付近
見取図



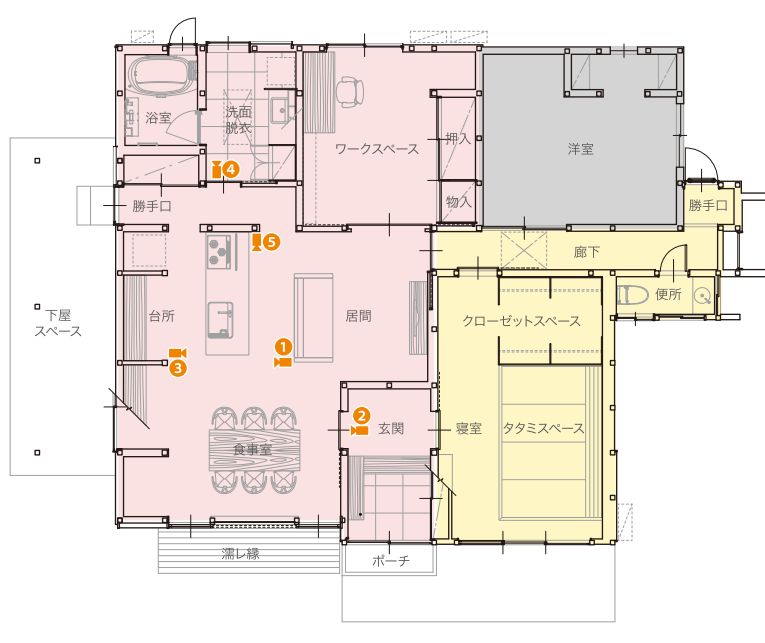
平面図

リフォーム前



改修済(約20年前)部分 改修後解体部分

リフォーム後



全面改修部分 表面改修部分 既存のまま

設計コンセプト

岡山市に建つ築50年ほどの住宅。約20年前に親世帯が建てた住宅と繋がった旧母屋の改修プロジェクトである。親世帯の住宅を建築した際に一部を改修、今回が2度目の改修ということになる。ご家族はこの住宅で育ったご主人を含む夫婦+子ども2人(設計時は子ども1人)。出産、子育てを機にこの建築を改修し、近隣のアパートから移ることを決意。ご主人は在宅で仕事をされており、奥様も在宅勤務の時間が長いので、「職」と「住」を融合させる改修が求められた。改修済エリアは表面改修(仕上変更等)または既存のままとし、玄関を含む西の未改修エリアの全面改修(構造補強、温熱改修を含む)を基本とし、未改修エリアに暮らし×仕事の主となる空間を配置した。本改修のメインは台所/居間/食事室の一室空間。奥様は食事

室のテーブルで仕事をされ、ご主人のワークスペースからの風景にもなるため、「職」「住」にとって最も重要な空間がこの一室空間である。ここからは南庭、その奥にご両親が手入れする畑が見える。この風景を感じながら日々を過ごしてほしいという思いから、視線を誘導するために天井は南に向けて下がる勾配天井とした。既存軸組内に納まるプロポーションを検討し、任意で天井棟ラインを設定したラワン合板による切妻型の天井としている。一方で既存柱を撤去し、新設梁で補強した居間スペースはフラット天井として、一室空間の連続性、一体性のなかに変化をもたせた。改修では既存の建築がもつポテンシャルを引き出すことを第一に意識する。今回の改修がそのポテンシャルを活かし、「職」と「住」の融合した家族の暮らしを支え続けるものになることを願っている。

審査委員講評

ゆるやかに折れた大きな天井が実に美しく、伸び伸びとした住空間を生み出しています。材料を吟味しながら、プロポーションやディテール、そして採光や色調など、設計の基本に立ち戻り、確実に選定・実施した成果だと思います。家具デザインや配置にもそつが無く、加えて、南庭側の木製建具やファサードにも、設計者のセンスの良さや力量を感じます。



①居間スペースより食事室、台所をみる。既存軸組内にラワン合板の切妻型天井を納めた。



②



③



④

②③床は栗の無垢フローリング、壁は大理石粉からつくられた塗装仕上げ。生活の中心であり、仕事場、休憩・食事スペースにもなるこの空間にはできる限り自然素材を採用した。
④北側の洗面脱衣には北側開口を計画したが、毎日のスタートとなる空間には明るさが足りないと判断し、トップライトを設置。
⑤ラワン合板の天井は南側の天井高、天井棟の位置、勾配を熟考。南開口部は家具との相性や庭の見え方、天井や床からの連続性があるようなデザインをめざした。



⑤